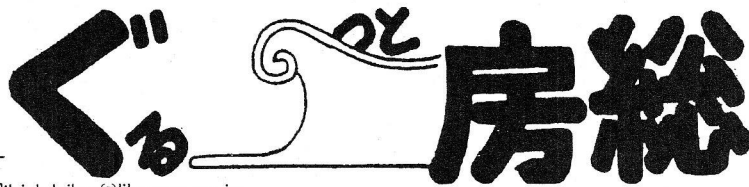


〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2-17-6  
サンコート新千葉102号

TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263  
発行責任者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター  
2012年1月10日発行 第63号 1部100円 E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp



県民活動基盤強化事業	(特)子ども劇場千葉県センター	①講習会 10回 44団体 ②個別相談 21団体 30回 ③専門家派遣 25団体予定
ボランティアコーディネーター育成講座	(特)コミュニティ・コーディネーターズ・タンク	①研修会 7回 28名 ②アフタープログラム 1月
ファンドレイザー育成講座開催事業	(特)日本ファンドレイジング協会	①基礎研修講座 7回延べ 138名 ②実践研修2回
認定特定非営利活動法人取得促進事業	(特)NPO 支援の税理士ネットワーク	①説明会 70法人 101名 ②相談会 30法人 ③支援者決定 8法人 ④専門家派遣
民が民を支える仕組み構築モデル事業	(特)ACOPA (実施地域 松戸市、柏市、我孫子市) (特)ちば市民活動・市民事業サポートクラブ (実施地域 千葉市、市原市、袖ヶ浦市)	①支援対象者 31団体 ②コーディネーター育成・講座 ③リーフレット配布・HP開設・運用・シンポジウム開催
寄附促進キャンペーン事業	(特)ちば市民活動・市民事業サポートクラブ	①寄附募集講座 4回 27団体 ②企業・NPOの情報交換会 ③ファンドレイジング in 千葉の開催
融資利用実態調査事業	(特)ACOPA	

## 平成23年度千葉県県民活動促進事業中間報告

8月から始まった、千葉県県民活動促進事業の中間報告会が開かれた。様々なアプローチによる講習会や研修会・相談活動は、個々のNPO団体が課題を明らかに自覚し、それを切り開き、体力をつける場となった。終了後も、身近なところで個々のNPOが相談できることや、日常的なサポート、フォローアップをする中間支援組織の存在と、その強化が求められている。



### 講習会→専門家による個別相談→専門家派遣の徹底したプログラムが好評

子ども劇場千葉県センター受託 『県民活動基盤強化事業』より

\*参加率もおおよそ 80%程度で、特に新しいNPO会計の講座は、会場がいっぱいになるほど関心があった。労務管理等、団体の基本的な基盤整備やリスク管理についても、おろそかにしてはいけないということを確認できた。

\*講座内容については「情報開示における会計の重要性がよくわかった」「理事＝経営者としての自覚と責任を持つことの重要性を学んだ。」「NPOの財産は人とのつながりであり、そのことを自覚する大切さがわかった」「サービスより当事者作りということを再確認できた」などの感想が寄せられた。

\*更に深く知りたい、学びたいという意欲もあり、非常に好評であった。

\*話しやすく丁寧な個別相談で、かかえていた課題が、具体的な指導で解決し、「やってみよう！」という気持ちになった。

\*NPO会計やITでは、すでに専門家派遣の希望が出されている。

市民を創ってきたいまで

NPO立派はどうく？

3年間(平成24年度から26年度の計画)の(仮称)千葉県県民活動促進計画が発表されています。骨子案の概要を掲載します。

#### 《計画策定の趣旨》

市民活動団体(NPO)による活動や、ボランティア活動など、県民自らが自発的に地域に存在する様々な問題の解決を図り、地域社会をより豊かにしていこうとする社会貢献活動、すなわち「県民活動」の推進を図っていくための方向性を明らかにする。

#### 《計画の性格》

総合計画「輝け!ちば元気プラン」の実施計画のひとつとする。

#### 《計画の対象範囲》

市民活動団体(NPO)(ボランティアも含む)及び個人としてのボランティアを本計画における施策の対象とする。

#### 《計画期間》

3年(平成24年度から26年度)

#### 《私たちが目指す地域社会とは》

誰もが当たり前のように県民活動(NPO・ボランティア)に参加し、地域のみんなで支えあいと活力のある千葉県

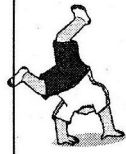
#### 《施策の方向性》

- ①県民活動(NPO・ボランティア)への理解や促進
- ②市民活動団体(NPO)に基盤強化等の支援
- ③地域の様々な主体と市民活動団体(NPO)との連携の促進
- ④市民活動団体(NPO)と行政との協働の推進

#### 《スケジュール》

2011年11月中↓パブリックコメント  
2012年3月↓計画の決定、公表

## 座談会



### 事業を通して子どもたちのいろいろな姿が見えました

子ども劇場千葉県センターではこの2年間の事業方針に「リアルな現場、リアルな子どもたちの状況を把握する」を掲げてきました。様々な事業を通して子どもたちと向き合い、その現場でいろいろな子ども姿が見えた一年でした。そこで担当した理事の座談会を開催しました。



子ども劇場千葉県センターが初めて受託した「放課後子ども教室」のスタッフとして関わったみなさんから見えた子どもたちの様子はどうでしたか

A 子ども同士の些細なトラブルがない日はなかったですね。ものの取り合いや手が出たり、足がでたりと・・・その都度、お互いの話を聞き、「その場で解決」と思い、どんなふうに仲直りするのかなど見てきました。結構自分たちで解決していきましたが、中には何回もしつこく喧嘩を続ける子どもたちもいました。子ども同士でも上下関係みたいなのがあって、強い子が弱い子をたいたいたりというパターンが目につきました。でも最近、弱いと思われた子が、強い子にくらいついていく姿を見て「変わったな」と思いました

B 遊んでいる時に邪魔されたり、ちょっかいを出されると怒ったりと喧嘩の原因はいろいろですが、喧嘩しても喧嘩してもくっついて遊ぶ姿は不思議でしたね。あと、後片付けをしない言い分が「自分じゃないよ」とか「今、遊んでる子が片づけられないじゃん」とかいろいろ言うてきました。

A そんな低学年の子どもたちですが、3年生も後半

になると子どもたちは集団で遊ぶことができるようになるんですね。男の子も女の子も一緒にドッチボールで自分たちのルールを決めてやったりと、成長していく姿ですかね。口の悪い子もいて、「使えねえばあだ」とか言われました。スタッフも負けてませんけど・・・

B 「放課後子ども教室」が始まってから3か月たちましたが、一人一人見ていくと成長していく姿も見えてきました。普段は落ち着きがない子どもでも帰りに送っていくと「ありがとう、さようなら」とびよこんと頭をさげたりして・・・結構、放課後でエネルギーを発散しているみたいです。

若者のスタッフがたくさんいますが、子どもたちの関係はどうですか

A 子どもたちは私たちより、若いお兄さんやお姉さんスタッフの方が体を張って遊んでくれるので人気がありますね。でも蹴られたりすることもあ

るかも。放課後の若者の存在は大きいですね。手や足が出るのは、まだ気持ちをうまく伝えられないのではと思います。

「子どもの舞台芸術体験ひろば」もたくさんの子どもたちが来てくれました。子どもたちがプロのパフォーマーに出会い楽しんだ様子を話してください

C 「思いつきり遊べた」とか「遊びまくれた」とかいうアンケート結果がありました。「表現遊び」では新聞紙で洋服を作る「デザイナーになろう」というのをやって集団遊びなんですが、4年生が多かったので周りの友達の仕事も考えられる年齢だなあと思いました。講師の声のかけ方も上手でその気にさせるのがうまいと思えました。「人形づくり」では親が手を出す場面が多く見えました。ちゃんとつくらせたい親と、思い通りにできない子どもの姿があつて親子で一緒に楽しんく欲しいという趣旨の意味を考えてしまいました。いろいろな親子の関係が見えましたね。

D 「こまのたけちゃん」では特に親が一生懸命になつてやっていました。子どもが回せない「先生と同じにやらないからできないんだ」とかいつてましたね。自分の子どもしか見えてないみたい。特にお父さんは男の子ができないのが我慢できないよう、男親の男の子に対する見方が違うのかな・・・

E 自由に表現したり、心ゆくまで作ったりできる「体験ひろば」のように安心した空間で体験でき

ることがだいじなんですよ。

F 子どもたちはアンケートで「たけちゃんのようにになりたい」「早く帰って練習したい」とありました。

たけちゃんに出会って、たけちゃんのように練習すれば、自分もできるようになるって思えたみたい。たけちゃんも、とにかくみんなが1回だけでも回せるようになるまで、と思っていた。そうすれば自信がついて回せるようになるからと言っていました。

C 8月の体験広場でやった永野むつみさんの「見たこともない生き物作ろう」ではカラフルな封筒や、きれいなテープ、可愛いシールなど空想の世界が広がる材料でした。子どもたちは自由にその中から使いたいものをえらび、自分だけの生き物を楽しんで作っている姿が印象的でした。とにかく、材料が素敵でどれを使ってもいいなんて夢のようだって、参加した子どもたちが言っていました。

今、図工や工作をする時間が少ないので貴重な時間ですね。ワクワクしながら作ったり、「できない・できない」「勝った・負けた」ではない「体験ひろば」の良さですね。

病院という特別な環境の中にいる子どもたちへ届ける「笑顔の贈り物」で見える子どもたちはどうでしたか

G 公演を、とびつきの笑顔で楽しんでいる子どもたちは、普段公演会場で出会う子どもたちの笑顔

と一緒にです。子どもたちに事前に届ける「招待状」を手に持って待っていてくれる姿はいいとおしく感じます。会場に足を運ばない子どもたちもたくさんいました。人工呼吸器をつけたまま反応がない子どもにもパフォーマーが楽器を演奏すると、その子の顔が紅潮していくのがわかりました。付き添っていた看護師さんもびっくりの瞬間でした。さて、そんないろいろな子どもたちからかかってくる「チャイルドライン」です。電話の向こうの姿はどのように見えましたか

H 自分自身の内面的な話の電話が多いですね。負の部分・陰の部分というのか、誰にも見せられない自分の姿を話してくれず。友だちのこと、もしものはなし、自分は嫌われているかも、とか・あと、「私は人にどんな風に見られているか」という電話が多いです。もちろん、「今日は楽しかったんだ！」という電話もたくさんあります。「よかったですね！」といってもらいたいのかな。時には深刻な電話もありますが、親のことは決して悪く言わないです。子どもはみんな親が好きなんですよ。

子どもたちは、答えを求めているわけではないんですよ。もしかしたら自分の気持ちの伝え方がわからなかったり、下手になってるんじゃないかと感じますね。話を聴いてくれる大人がいて、小さい時からいっぱい遊んで、ぶつかり合って発散する場が身近にあれば、自分の心の表現の言葉を持てたり、トラブルの解決方法を、自分なりに得ることができるといいですね。

子どもたちにはいろいろな「居場所」が必要です

G 「放課後子ども教室」に関わっている私たちも、きれいなごとは済まされない場面もあって、ものを大切にしないとすぐダメ出しをしたり、禁止！とか言ったりしてしまう。色紙やクレヨンとかをぐちゃぐちゃに使ったりして遊んでいると「もう貸さない！」とか言ってしまったりするんですよ。子どもたちは子どもたちなりに遊びを發展させながらやってくるのに。肯定的な言葉かけをしなから場所をつくりたい。学校でもない家庭でもない地域の居場所をつくりたいですね。「放課後子ども教室」もそんな場にしていきたいですね。

H 体ごとぶつかりあったり、喧嘩したりする居場所も、チャイルドラインのような心の居場所、どちらも子どもたちにとってはあった方がいいんですよ。子どもたちはいろいろな場面で人間関係をつくり集団の中で大きくなっている、成長している、そこで折り合いをつけてる、賢いなあと思っています。

★放課後子ども教室

放課後の安全で安心できる居場所の中で、心豊かで健やかに育まれることを目的に、地域の方々の協力を得て実施する。

★子どもの舞台芸術体験ひろば

子どもがプロの舞台芸術家と出会い、自分の中にある可能性を広げ、舞台芸術への興味や関心を高め、自主性や社会性を引き出し育む。

★長期療養の子どもに届ける笑顔の贈り物

長期療養中の子どもとその家族、病院スタッフに、病院内でプロによる演奏、人形劇、クローン、マジック等の芸術を届け一緒に楽しむ。

★チャイルドライン

18歳までの子どもがかけられる子ども専用電話。電話を通じて子どもが気持ちに共感しながら心の声を聴き、子ども自身の力で問題解決できるようサポートする。

# 『はじめてのおしばい』で きもち フワッ!

0,1,2,3歳児と親のための『はじめてのおしばい』

## ゆたかな共感が伝わる

\*観終わったあとには、豊かな共感が伝わってきます。そして今の気持ちや子どもの様子をみんなで話すことで、また、共感の輪が広がってきます

\*おしばいを見終わった後、お互いに今、感じたことを交流しあう『茶話会』は大変重要な場。自分の気持ちを言えたこと、そして他のお母さんの反応を聞きながら、子どもの成長や感想を共感し合うことができます

## 安心の場

\*安心して子どもとお母さん、お父さんが、心ゆくまで楽しめる舞台を親子で一緒に過ごす楽しさがあります

\*お母さんやお父さんにとっては、わが子の成長に喜び新しい発見に嬉しさがあります。日常生活からほんの一時、ホッとすることは癒しとなります

【感想から】

- ・すごく楽しかった、満足!
- ・自分も癒された
- ・子ども以上に私がすごく楽しくて、あったかい(笑) ちになれた
- ・プロの方の舞台は観ていてすごく楽しい気持ちになり、心がほっこりした
- ・お父さんも子どもと一緒に気分転換になった、家族みんなでみたい



## 舞台芸術が人をつなぐ!

\*感動を共有したとても温かい、安心の場でいつまでも帰らず出会った親子同士で余韻を楽しんでいます。「生の舞台を観る」ということがここまで人がつながっていくことを実感します

\*親子が孤立しない、お母さんの気持ちがほぐれ、またこのような場・仲間と共有することがいいと思う「0.1.2.3歳児と親のためのはじめてのおしばい」の意味がここにあります

## わが子の成長、新発見!

【感想から】

- ・よびかけにこんな風に言葉を出したことが衝撃だった
- ・テレビと違って自分も動いたり、声を出したりしていた。子どもの表情が全然違っていた
- ・初めて、音とか雰囲気とかが伝わり、とても心地よさそうに観ていた。初めて観ているのを楽しめた

## 課題

県内の乳幼児の活動で「おしばい」を実施しているところが減少している状況にあります。乳幼児とその親の社会的な課題を捉え、そのために、パフォーマンスの作品さがし、30組の親子を対象にしたいいわば「ぜいたくな舞台」のための財政づくりを意欲的に続けることがもとめられます。

2011年度 年賀寄付金チャレンジプログラムと福祉医療機構助成金を得て、県内11箇所で開催しました。

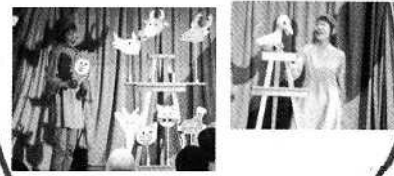
場所	日	上演作品	参加者数(人)		
			乳小	大人	計
千葉市緑区 あすみが丘プラザ	9/7(水)	人形劇団ブーク 『あらどこだ』	40	48	88
千葉市若葉区 若葉保健センター	9/8(木)	人形劇団ブーク 『あらどこだ』	39	41	80
千葉市美浜区 打瀬公民館	9/9(金)	人形劇団ブーク 『あらどこだ』	35	35	70
市川市 JRA中央会館	9/15(木)	人形劇団ブーク 『あらどこだ』	37	33	70
市川市 勤労福祉センター	9/16(金)	人形劇団ブーク 『あらどこだ』	31	33	64
千葉市おゆみ野 ふれあい館	11/1(火)	あ・ぶ・ぶ人形劇団 「こいぬとこねこは ゆかいななかま」	27	29	56
香取市 山田児童館	11/16(水)	あ・ぶ・ぶ人形劇団 「こいぬとこねこは ゆかいななかま」	45	38	83
野田市 七光台会館	11/22(火)	人形劇団のはな 「ちいちいにんにん」	38	33	71
小中台 地域福祉交流館	11/23(水)	人形劇団のはな 「ちいちいにんにん」	37	39	76
千葉県乳児院	11/24(木)	人形劇団のはな 「ちいちいにんにん」	16	10	26
成田市八生公民館	12/4(日)	あ・ぶ・ぶ人形劇団 「こいぬとこねこは ゆかいななかま」	23	14	37



あ・ぶ・ぶ人形劇場  
「こいぬとこねこはゆかいななかま」



人形劇団のはな  
「ちいちいにんにん」



人形劇団ブーク  
「あらどこだ」

子どもたちにとってみじか動物が主役のおはなし。  
「ケロロだジャンプ!!」はセリフのないお人形劇。「こいぬとこねこはゆかいななかま」はかよしのこいぬとこねこが自分たちの体を借りて協力しながらおうちのお掃除をしながら、ま、黒になった自分たちも洗濯してきれいになるおはなし。おしばいの後は、人形たちと記念撮影をしています。

4つの短い人形劇集「かぼのカッチャン」「わたしのおじいちゃん」「くわくわ」「いたいのいたいのとんでいけ」で子どもたちがあきないように工夫されています。  
かわいいかぼのあからんカッチャンに「あ〜ん」とおだんごをたべさせる子どもたち、どの子も嬉しそうに「やったよ!」とお母さんのもとに帰ってくる場面は、会場全体があたたかさに包まれます。  
お家にもあるくまのぬいぐるみを動かす「いたいのいたいのとんでいけ」では、お母さんと子どもたちが家庭での遊びができるように作られています。  
観終わったあとは、ひとりひとりの子どもたちのところに人形たちがやってくる、おもいっきりなでたりしながら、ふれあいます。

神沢利子さんの詩の世界を人形劇で表現した作品です。女優の早川百合子さんの豊かな表現力、人形使いであたたかい空間があらわれます。  
あらどこだ・たんぼぼ・やまあらし・毛虫のうた・紙ひこうきの短いおはなしが展開されていきます。ひとひとつの人形の色の美しさがすばらしく、音楽もやさしい。  
最後は、お母さんがこころいやされるおはなしで静かに終わります。  
25分のおしばいですが、観た後、おしばいに使われた人形たちとこころゆくまで親子で遊んだり、写真を撮ったりして余韻を楽しみます。

「ママパパラインちば」から仙台、会津に1人を派遣!

子ども劇場千葉県センターは、被災地に「子育て応援ダイヤル」を開設する子ども劇場全国センターに協力し、電話の受け手等スタッフを派遣します。



ママパパライン研修会より

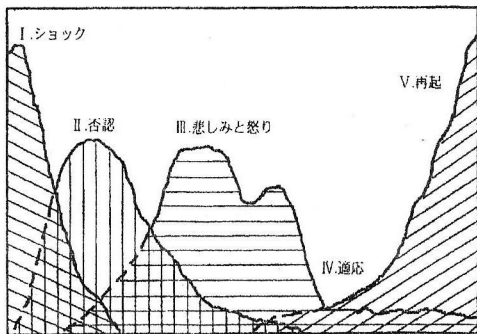
★「子どもをもつ家族を支えるために」

講師：中村肇さん（阪神北広域こども急病センター理事）

中村肇さんは、阪神淡路大震災で自らも被災した経験があり、以後小児科医として「災害時における家族支援の手引き」の編集の経験から導きだされる支援のありかたを提案されました。子どもは、遊びの中で、表現したり絵に描いたり話をしていくことでこのような困難を受け入れていきます。周囲の人が、子どもが表現しやすい状況を整え、十分に受け入れてやると、子どもは自分自身の力で苦しみを乗り越えていきます。子どもに安心感を与えるためには、特に母親を支えることが大切です。

メッセージ

大震災から子どもや家族のためにずっと頑張ってきたあなたへ。疲れがたまっていませんか？子育ての悩み、大震災のこと、将来の不安やストレスを話して少し気持ちをラクにしてください！



上記の表は、「災害時における家庭支援の手引き」から抜粋したもので、災害で喪失体験をした人が、大きなショックを受けてからその感情と向き合い、適応し、再起していくまでの心のプロセスを表した「悲哀の5段階」という表です。

★「相手の心に寄り添う『受容』と『共感』とは？」

講師：西田葉子さん（カウンセラー）

子育てに行き詰まりを感じる、人間関係に悩んでいる、原発が心配・・・ママパパたちはこんな時話を聴いてほしいと感じています。

そんな時、聴き手に求めるものは、無条件に、受けとめてもらい、安心したい、批判しないでほしい...ということではないでしょうか。

「個人はすべて、自分が中心であるところの絶え間なく変化している経験の世界に存在する」(C・R ロジャース)という言葉があります。

私たちは似ている経験をしていると思っても、一人ひとりかけがえのないその人の現実の世界で、独自の経験をしているということだと言えます。

ママパパラインの傾聴の姿勢としては、「あなたの話を聴かせていただきます」という謙虚さと、相手の生きた感情を捉え、その人の身になって感じ取り、理解しようとする気持ちこそ大切です。

全国7箇所(石狩 仙台 東京 千葉 愛知 和歌山 兵庫)でも、ママパパライン全国キャンペーンを実施!  
開設日：2012年1月30日(月)～2月4日(土)

- ①ママパパラインほっかいどう  
常設：080-6062-4735 13時～16時
- ②ママパパライン仙台  
常設：022-773-9140 10時～16時
- ③ママパパラインちば  
常設：043-204-9390 13時～16時
- ④ママパパライン東京川の手  
常設：03-3633-0415 13時～16時
- ⑤ママパパラインあいち  
常設：052-203-8655 13時～16時
- ⑥ママパパラインわかやま  
常設：073-432-3690 13時～16時
- ⑦ママパパラインひょうご  
常設：078-945-8333 10時～16時



子育て家庭を対象とした傾聴電話(ママパパライン)の広報周知活動

子どもNPO・子ども劇場全国センターは、11月から12月半ばにかけ、東北6県(宮城 福島 岩手 青森 秋田 山形)の当事者にこの情報が届くよう、キャラバンを組んで、県・市町村を訪問しました。電話と訪問による趣旨説明は、ほとんどの自治体で理解を得て、6県でカード30万枚、ポスター4,000枚を、(12月末現在)保育園、幼稚園、小学校、保健センター、子育て支援センター等に配布が実現しました。最終的には、郵送も含め100を越える自治体が広報周知に協力してくれることとなります。福島県と会津若松市では、県内の子ども劇場の方々が、積極的に配布の協力をしていただいています。

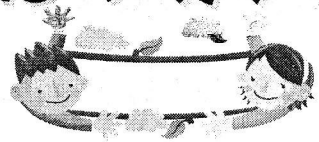
特に津波被害のあった沿岸部ではリアルな実態を目にし、地域で生活する空気を感じてきました。「何もなくなってしまった」という言葉を何人かから聞きました。ご家族を亡くされた方もいました。町は、まだまだ廃墟のままです。

そんな中で、行政担当者は通常業務と支援業務を続けなくてはならず、疲弊しているところがあります。震災被害の大きい地域では、行政のできることに限界を感じておられ、子育て者の気持ちを受け止める傾聴ラインに対し、とても共感を示され、「ママパパライン」を積極的に広報したいという反応です。岩手県では県内で継続的に「ママパパライン」の開設を望まれました。また、訪問後、山形県の担当者からさらに県内15市町村へカード15,000枚の追加があり、横手市の担当者から避難している家庭に直接渡したいと、カードの追加がきています。

# NPOではたらく人

## みんなで楽しんでいきます!

NPO B-Net 子どもセンター 理事 葉山広子



1995年4月、酒々井町でもっと身近な情報を町民に届けようと、月刊誌が発行されました。近くにある順天堂大学の学生が、町でボランティアをしたいと始めたもので、ほどなくその編集の手伝いを頼まれたのがそもそものきっかけです。1998年4月、町中の一軒家を活動拠点として「町民活動の館 B-Net (Broad Network の略で広範囲なつながりの意)」を開設。1999年文部省の『子どもセンター事業』を始めたことから「B-Net 子どもセンター」となり、2001年3月NPO法人を取得しました。この時会計を任せられ、以来ずっと会計、事務その他をやらせていただいています。

これまで、B-Net 子どもセンターは多くの事業を手掛けてきましたが、学生たちが中心となって企画・運営をし、地域の大人はそれに協力するというそのスタイルは最初から変わっていません。もちろん理事長も学生です。B-Net 子どもセンターで活動する学生はまじめで、豊富なアイデアを出し合って真剣に楽しく事業に取り組んでいます。活動を通して彼らも成長し、卒業する頃には自信に満ちて風格さえ備わってきているように思えるのです。また、支援して下さる地域の方も徐々に増え、その方たちとの出会いも素晴らしく貴重なものです。

ここに集う子どもたちも可愛く、みんな元気に育って将来の日本を明るくするような大人になってほしいと願っています。恐れを知らない若いパワーと、温かい支援の輪、育っていく子どもたち。そんな活動の中にいて時には難しいこともあります。一番得(?)をしているのは、私かもしれないとひそかに思っています。

今から5年ほど前、「地域子ども教室」の事業をしている頃に、子ども劇場千葉県センターの方々にはずいぶん助けていただきました。小さな町で活動しているNPOを助けてくださる心強い方々がいらっしゃることに感激し、他のNPOの活動も知ることができ、良い意味で大きな刺激を受けました。これからもよろしくご指導ください。

### B-Net 子どもセンターの活動

- 情報提供事業：子ども情報誌「アツくん」の発行 月1回 1700部
- 子育て支援事業：「B-Net 子ども教室」毎週木曜日2時から5時「放課後子ども教室」小学校2校で毎週実施「スポーツ教室」の実施
- 町づくり事業：「B-Net 子ども夏祭り」「健康体操教室」特別養護老人ホームエトピアで毎月1回実施

## 生き生きと輝く毎日を

千葉県学童保育連絡協議会 鈴木美加

千葉県学童保育連絡協議会は、県内の学童保育(放課後児童クラブ)をよりよくしていきたいと願う保護者や指導員のネットワークです。子どもたちに、豊かな放課後の生活を過ごして欲しいという願いを実現するために、日々、交流や学習をしています。

保護者の切実な願いは、安心して安全な学童保育所が地域に存在することですが、豊かな生活体験もさせたい、たっぷり遊んで大きくなって欲しい、異年齢の子どもたちと、自分と違う存在に気がつきながら、思いやりの心を育てたい、人として大事にされ、愛されているという実感を持ちながら育てて欲しいというような内容に関わる願いもあります。

この夏、子ども劇場千葉県センターに企画からお誘いをいただき、千葉県文化会館を会場に、子どもたちの夏休みの楽しい思い出づくりをさせていただきました。

“昔遊び”とひとくくりされるコマやベーゴマ、けんだま、あやとり、まりつきは、学童保育にとっては、今も生き生きと輝く毎日の遊びの一つです。

## 私からのメッセージ



千葉県文化会館中に、子どもたちの賑やかな声が響きたわたり、子どもたちはあこがれていた「本物」やわくわくする夢のある体験ができました。

パレエを一度して見たかった子、テレビに出ているこまのたけちゃんを負かしたと喜んでる子、ふんだんに使ってもいいよと並んでいる色紙や封筒で好きな色を選び、使ったことのない手動のシュレッダーを用いることもできました。

できあがり、どれも大切な自分のイメージのへんてこな生き物! 子どもたちは、今も、あの日の思い出話をしてくれます。

子どもたちも、上手だね、すごいね、いいね!がんばったね!とほめられたり、認められる楽しい一日を過ごすことができました。子どもの文化を大切にし、尊重しながら、子ども心を忘れない皆さんと楽しい時間をこれからも共有出来ればと思います。

## 日本の生活文化を伝える

### 毎年恒例のお正月しめ飾りづくり



毎年暮れになると、千葉北おやこ・みるあそぶ会では、待ちに待った「お正月のしめ飾り作り」がやってきます。邪気を払い神域を示す紙垂をはじめ、子孫の連続を象徴するダイダイの実やユズリハの葉、誠実・清廉潔白を象徴するウラジロの葉等を使った、美しい「しめ飾り」は大変好評です。今年は、午前・午後の2回で子どもも含め、のべ19名が参加し、うち、これまで毎年参加している参加者が8割を占めました。

会場には講師の村井さんが、前日にご実家の君津まで材料を採りに行き準備して下さった生の材料が並び、「ウラジロは裏表のない心、ユズリハは譲り合う心…」などの材料ひとつひとつの意味合いや、お正月飾りの言われなどの説明を交えながら、作り方が始まりました。

今回使う藁は、神社に奉納するためのしめ縄用に、田んぼの三分の一を、それ専用の稲を植えて作るという特別な稲わらで、もう一つ用意してくれた種類のわらよりも長く柔らかく、色は少し青みがかっていました。

参加者のみんなは、作り始めるとだんだんと会話や笑い声もなくなり、真剣なまなざしで集中していきます。縄ないは、初めはむずかしいのですが、縋っていくうちに少しずつおもしろくなってきて、夢中で何本も作るのに挑戦する人、もう慣れた手つきであざやかに縋ってしまう人、材料を組み合わせ飾りをアレンジするのにいろいろ悩む人…そして、あっという間に時間がたち、自分で作る、どこにもないただ一つのお正月飾りが完成しました！

それぞれに愛着のある、自慢の作品です。



～参加者の感想をご紹介します。～

・昨年に続き二回目の参加です。昨年苦戦した縄縋いも、今年は少しは慣れたような気がします。一年ぶりでも、以外と手が感覚を覚えているものですね。しめ飾りとリースを作ることに没頭してストレス解消！没頭し過ぎて縄縋い中は、つい無言になっていました。物づくりをするってこんなに楽しいんだな～♪と、改めて実感しました。

・昨年はほぼ村井講師にやってもらった縄ないも、今年はコツがわかって出来るようになりました。出来ると楽しくて縄ないをずっとやっていきたいくらいでした。余計な力が入っているのか手のひらがっすりそうになりました。一つは夫の実家にプレゼントして喜んでもらえました。良い年が越せそうです。

参加者の方には毎年とても喜んでいただき、講師の村井さんには、心をこめた材料を準備していただき、本当に感謝・感謝の取り組みになっています。

そして私にとっては、このお正月飾りを作ると新年が迎えられるという晴れやかで新たな気持ちにさせてくれる行事でもあります。いつもちょっと小ぶりのお飾りを作っているのですが来年は大きいお飾りを作って職場の玄関を飾ってみようと思います。

会長 長谷川詠香

#### 編集後記

今年も子どもたちの健やかな成長を願いみんなにとってより良い年になりますように。

東日本大震災以後、特に家族とともに日常の生活が出来る事に感謝し、人と人がつながる大切さを痛感しました。復興もこれからですし、原発の問題とまだまだ不安なことも……。1月には子どもNPO・子ども劇場全国センター主催の「被災したママパパを受けとめる傾聴電話事業」にママパパラインちばの受け手、支え手・スタッフを派遣します。ママパラインを通して、被災地の人たちに寄りそえるといいなと思っています。

中川香子

# 舞台 なま情報

- 県内の子ども劇場の鑑賞会で観たい作品がありましたら直接その団体にお問い合わせください
- 下見等については千葉県内の申し合わせ
  - ・ 役員の下見は5名まで無料
  - ・ その子どもは1人1,000円
  - ・ その他は1人2,000円  
(子ども、おとな同額)

## 第63号別冊 <2012年2月~4月>

### 舞台劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◇ 劇団風の子	子どもが小国民といわれたころ	3/3	13:30	佐倉中央公民館	佐倉	小4以上
◇ 風の子東京	小さい劇場プログラムA	3/4	13:00	西白井複合センター	白井	幼児~
◇ 劇団風の子	風の子パザール	3/18	14:00	千葉市生涯学習プラザ	八千代	幼児~
◇ 東京芸術座	赤ひげ	4/21	18:00	千葉県教育会館	千葉中央	小4以上
◇ 劇団うりんこ	ねむるまち	4/25	19:00	船橋市きららホール	千葉県センター	小学生~

### 人形劇・影絵劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
☆ むすび座	まゆとおに	2/18	15:00	船橋市中央公民館講堂	船橋	幼児~小6年
☆ ほんわかシアター	ほんわかミニシアター	3/13	11:00	千葉市打瀬公民館	千葉西	0123歳児と親

### 音楽

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
♪ TAP DO!	タップダンスエンターテイメントショー	2/11	18:00	習志野市民会館	ならしの	幼児~大人
♪ イッツフォーリーズ/オールスタッフ	ドン・カマー	2/19	15:00	佐倉市和田ふるさと館	佐倉	4才~小6
♪ 水嶋一江&ストリング ラフィ・アンサンブル	森の記憶	2/19	14:00	富里市中央公民館	成田	4才~大人
♪ 太鼓と芝居のたまご座	太鼓の絵本「ソウとねずみ」	2/19	15:00	行徳文化ホールI&I	市川行徳	幼児~大人
♪ MAX鷹野	音の魔術師・MAX鷹野電子オルガンコンサート	4/7	18:30	市川市文化会館小ホール	市川北	幼児~大人
♪ マレットピット	MALLET×PITコンサート	4/7	未定	千葉市美浜文化ホール	千葉西	幼児~大人
♪ Kodama Quartet	JAZZ NIGHT	4/15	18:00	八千代市勝田台文化センター	八千代	高学年

### 芸能・他

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◎ どん亀座	キマグレサーカス	2/25	14:30	千葉市美浜文化ホール	千葉西	幼児~大人
◎ 松元ヒロ	松元ヒロ・ソロライブ	3/2	19:00	船橋市きららホール	船橋	中学生以上
◎ むごん劇かんばんにい	ムーラの一人サーカス	4/1	未定	市川市内	市川北	幼児~大人
◎ こまのたけちゃん事務所	こまのたけちゃんのおそぶおそび!	4/3	未定	浦安市民プラザWave101	浦安	幼児~大人

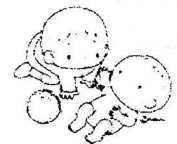


# きらきらわくわく情報

2012年2月～4月

活動	日程	場所	主催団体
▪ 幼児とお母さんのほっとスペース はっぴいすペース	2/2.16.3/1.15.4/5.19	小中台地域福祉交流館	千葉北
▪ 幼児サークル びよんびよんキッズ かえる	2/2.16.3/1.15.4/19.26	市川市信篤公民館	市川中央
▪ 未就園児と親のワークショップ おやこリズム体操	2/2.10.16.24.	千葉市文化センター第2リハーサル室	千葉中央
▪ おしゃべりホットスペースこーひーかつぶ	2/6.20.3/5.19	市川菅野公民館	市川中央
▪ 幼児サークル クレヨンクラブ火曜日コース	2/7.22.3/6.4/17.24	市川市行徳駅前公園研修室	市川行徳
▪ 幼児サークル どんぐりくらぶ	2/7.28.3/6.13	白井市内公園・公民館	白井
▪ 幼児サークル わくわくキッズ	2/7.21.3/6.13.4/17.24	市川市勤労福祉センター	市川中央
▪ てあそびうたと親子体操	2/8.22.3/14.28.4/11.25	習志野市内公民館	ならしの
▪ おしゃべりホットスペースぶらっとhome	2/8.15.2/22.29.3/7.14.21.28	市川市大野地域ふれあい館	市川中央
▪ 幼児サークル びよんびよんキッズ うさぎ	2/9.23.3/1.8.4/12.26.	市川市信篤公民館	市川中央
▪ 乳幼児とお母さんのための体験と交流のひろば	2/9.21.3/1.13	袖ヶ浦市神納コミュニティセンター	袖ヶ浦
▪ 幼児サークル クレヨンクラブ木曜日コース	2/9.23.3/8.4/19.26	市川市行徳公民館	市川行徳
▪ 2歳児から未就園児の親子ふれあい体験あそびActive Kids	2/9.23.3/8	小中台地域福祉交流館	千葉北
▪ 乳幼児親子ワーク ミニびよんびよん	2/9	村上アース・メイト	八千代
▪ 幼児サークル わいわいキッズ	2/10.24.3/9.23.4/13.27	市川駅南公民館	市川中央
▪ 幼児サークル「ぶらんこ」	2/10.24	流山市内公民館	流山
▪ 乳幼児サークル	2/13.27.3/12.19.4/2.9.23	事務所/お伊勢公園他	佐倉
▪ 親子サークルブレンジ(金)	2/10.24.3/2.9	市川市曾谷公民館	市川中央
▪ 親子サークルブレンジ(月)	2/13.27.3/5.3/12	市川東部公民館	市川中央
▪ 幼児サークル のびのびキッズ福祉館	3/1	成田市保健福祉館	成田
▪ 幼児親子ワークショップ びよんびよん	3/1	村上アース・メイト	八千代
▪ 未就園児と親のワークショップ おやこリズム体操	3/9.15.	千葉市文化センター第2リハーサル室	千葉中央
▪ 幼児サークル「ぶらんこ」	3/9	流山市内公民館	流山
▪ 幼児サークル どんぐり	月曜日(不定期)	八街市営キャンプ場	やちまた
▪ 子育てひろば「こどもっと」	毎週木	松戸 天神庵	松戸
▪ 子育て支援 ぶらっとたまり場 はっぴのおうち	毎週火・水	こどもユニットWakaba事務所	Wakaba
▪ おしゃべりほっとスペース(きらきらひろば)	第2. 4火	市川市信篤公民館	市川中央
▪ おしゃべりほっとスペース(びよびよひろば)	第2. 4水	市川中央事務局スペース	市川中央

## 乳幼児の活動



	活動	日程	場所	主催団体
<b>いろいろ体験活動</b>  	▪ 放課後子ども教室「出会い体験夢ひろば」	2/1.3.10.15.17.22.24.29.	四街道地区コミュニティセンター	四街道
	▪ バザー	2/4	行徳駅前公園	市川行徳
	▪ 実験教室「紙漉と葉っぱの葉脈作り」	2/4	東金高校	緑区子どもS・C
	▪ バレンタインCooking!	2/4	南部梅郷公民館	野田
	▪ 糸を使って音遊び(“森の記憶”)事前交流会	2/5	成田市中央公民館	成田
	▪ あそぼうかい!	2/8	行徳駅前公園研修室	市川行徳
	▪ お母さんのピーナツみそ作り	2/17	印西市内公民館	いんざい
	▪ 中・高校生青年企画「運動会」	2/26	印西市内公民館	いんざい
	▪ 月例体験活動「Sun2Go2(サンソコ〜ゴ)あそぼう	2/26	若葉区山崎さんちの空き地	Wakaba
	▪ お餅つき	2/26	八千代市村上正覚院	八千代
	▪ 放課後子ども教室「出会い体験夢ひろば」	3/2.7.9.14.16.21	四街道地区コミュニティセンター	四街道
	▪ 遊びの広場	3/10	西白井複合センター	白井
	▪ 忍者修行	3/11	印西市内商業施設	いんざい
	▪ あそびの会	3/24	千葉市内百万本こもれびの里	千葉北
	▪ たき火でバームクーヘンを焼こう!	3/25	若葉区山崎さんちの空き地	Wakaba
	▪ 誰でも和太鼓体験	3/26	八千代市勝田台文化センター	八千代
	▪ 春の風まつり2012	4/1	船橋市天沼弁天池公園広場	船橋
	▪ 野草の天ぷら	4/7	千葉市教育の森「木の間」	緑区子どもS・C
	▪ 忍者まちをあそぶ(あそびつく)	4/21	白井市内会場	白井
	▪ こどもまつり	4/29	佐倉城址公園本丸跡	佐倉
	▪ 力をあわせてドラゴンカヌー	4月	印旛郡栄町	野田
<b>講演会・学習会</b>	▪ 輝け!船橋の子どもたち	2/5	船橋市勤労市民センター	船橋
	▪ バスハイク	2/11	環境エネルギー館(鶴見)	浦安
	▪ 「ドン・カマー」ダンスワーク	2/19	佐倉市和田ふるさと館	佐倉
	▪ 「うまれるってステキふしぎ」親子ワークショップ	2/19	野田氏中央コミュニティ会館	野田
	▪ こまのたけちゃん事前会	2/26	浦安市内会場	浦安
	▪ ケータイとじょうずにつき合おう!	3/4	船橋中央公民館	船橋
	▪ 映画会「1/4の軌跡」	3/20	野田市樺のホール	野田
	▪ 赤ちゃんと遊んでみよう(成田市委託事業)	3/24.27	成田市保健福祉館	成田
	▪ 映画会「星の国から孫ふたり」~「自閉症」児の贈りもの~	4/20	ミレニアムセンター佐倉	ならしの他
▪ 映画会「星の国から孫ふたり」~「自閉症」児の贈りもの~	4/21	習志野市民会館	ならしの他	
<b>高学年の活動</b>	▪ 高学年交流会	3/25.28	鴨川青年の家	船橋
	▪ 春の合宿	3/27.28	市川少年自然の家	流山
	▪ 春の交流会	3/30~4/1	水海道あすなろの里	ならしの他
	▪ 闇の忍者修行	4/7	八千代市飯綱公園	八千代

# 子どもと文化 イベント情報

## ◆ くぼた☆まさとさんの わくわく工作ショー

2月1日(水) 18:30~  
 場所:船橋きららホール  
 参加費:子ども(2歳~) 800円  
 大人:1,000円  
 主催/(特)船橋子ども劇場  
 Tel. 047-424-0851

## ◆ 子どもと親のコミュニケーションを高めるパフォーマンスとの出会い

2月5日(日) 10:00~ 無料  
 場所:流山市生涯学習センター  
 ・フェイスパイントにチャレンジ!  
 ・バレリーナになろう♪  
 ・劇あそび  
 ・ナメちゃんの手あそび  
 ・きもトライしてみよう!~はじめてのパントマイム~  
 主催/(特)子ども劇場千葉県センター  
 問合せ/(特)流山おやこ劇場  
 Tel. 04-7152-0446

## ◆ こども・あそび環境「考」座inちば あそびってなんだろう?

~今だからこそ、あそびの力をとりもどす~  
 2月11・12日(土・日) 対象:大人  
 11日:13:00~18:30  
 12日:10:00~15:30  
 場所:佐倉草ぶえの丘  
 参加費:大人3,500円学生2,500円  
 主催/NPO法人あそび環境Museum  
 アツバ-バ-ヲTel.0422-46-1954

## ◆ 映画会「さあ のはらへいこう」

2月18日(土) 10:30~  
 場所:千葉市若葉区保健福祉センター3階大会議室  
 参加費:1,000円中学生以下無料  
 主催/加-ザ-の会共催/子どもエイトWakaba  
 Tel. 043-232-0045

## ◆ チャレンジド・ミュージカルⅦ

「LEONILEO~今日は私の日~  
 2月12日(日) 11:00/15:00  
 場所:市川市市民会館ホール  
 2月18日(土) 14:00  
 場所:千葉県文化会館大ホール  
 参加費:  
 大人/前売:1,500 当日/1,800円  
 4才~学生、障がい者前売:1,000円  
 // 当日:1,200円  
 問い合わせ/申込み  
 NPO法人いちかわ市民文化ネットワーク  
 Tel. 047-339-7809

## ◆ 映画会「うまれる」

2月19日(日) 開演14:00~  
 場所:八街市中央公民館大会議室  
 料金/前売大人700円学生500円  
 当日大人1,000円学生500円  
 中学生以下障がい者無料  
 主催/やちまたおやこ劇場  
 申込090-9348-2907(佐藤)

## ◆ 松元ヒロ・ソロライブ公演

3月2日(金) 19:00~  
 場所:船橋きららホール  
 参加費:2,300円(中学生以上)  
 主催/(特)船橋子ども劇場  
 Tel. 047-424-0851

## ◆ くぼた☆まさとさんの わくわく工作ショー

3月6日(火)開演16:00~  
 場所:市川市勤労福祉センター  
 参加費1,000円(2歳以上)  
 主催/(特)市川子ども文化ステーション中央地区  
 Tel. 047-332-3024

※(特)は特定非営利活動法人を略しています  
 ※参加申込、場所、参加費、時間等の問合せは  
 各主催団体をお願いします。

## ◆ 忍者修行

3月11日(日)  
 場所:印西市内アルカサル中庭他  
 主催/(特)いんざい子ども劇場  
 Tel. 0476-46-6287

## ◆ 人形劇「ほんわかミニシアター」

3月13日(火) 親子券1,800円  
 ほんわかシアター公演  
 場所:千葉市美浜区打瀬公民館  
 主催/千葉西おやこ劇場  
 Tel. 043-272-1416

## ◆ 映画会「1/4の軌跡」

~本当のことだから~  
 3月20日(火)開演10:00/14:00  
 場所:野田市櫻のホール 無料  
 料金:大人2,200円高校生以下1,200円  
 主催/(特)野田子ども劇場  
 Tel. 04-7124-8419

## ◆ あそびの会バ-ク-ハ-ン作り

3月24日(土) 10:30~  
 場所:千葉市こもれびの里 500円  
 主催/千葉北おやこみるあそび会  
 Tel. 043-241-1142

## ◆ 舞台劇「赤ひげ」

4月21日(土) 東京芸術座公演  
 場所:千葉市教育会館大ホール  
 時間:18:00参加費大人3,000円  
 子ども:2500円(小4以上)  
 主催/(特)千葉中央おやこ劇場  
 Tel. 043-251-0142

## ◆ 舞台劇「ねむるまち」うりんこ公演

4月25日(日)開演/19:00  
 場所:船橋市きららホール  
 料金:大人4,000円  
 子ども:3,000円(小学生~18歳)  
 主催/(特)子ども劇場千葉県センター  
 Tel. 043-301-7262

団体名	Tel.	団体名	Tel.
● NPO法人 野田子ども劇場	04-7124-8419	● NPO法人 子どもプラザ成田	0476-29-1387
● NPO法人 流山おやこ劇場	04-7152-0446	● 千葉西おやこ劇場	043-272-1416
● NPO法人 市川子ども文化ステーション	047-395-7670	● NPO法人 こどもエイトWakaba	043-232-0045
● NPO法人 市川子ども文化ステーション中央地区	047-332-3024	● 千葉北おやこみるあそび会	043-241-1142
● NPO法人 市川子ども文化ステーション北地区	047-339-7744	● NPO法人 緑区子どもサポートセンター	043-308-4436
● NPO法人 市川子ども文化ステーション行徳地区	047-395-7670	● NPO法人 千葉中央おやこ劇場	043-251-0142
● NPO法人 子どもとまつど	047-344-2272	● NPO法人 四街道子どもネットワーク	043-423-5381
● 浦安子ども劇場	080-6651-9175	● やちまたおやこ劇場	043-442-3257
● NPO法人 船橋子ども劇場	047-424-0851	● 長生茂原おやこ劇場	0475-22-3000
● NPO法人 ならしの子どもの劇場	047-451-3676	● NPO法人 子ども一ぶ袖ヶ浦	0438-63-2850
● 白井子ども劇場	047-491-2163	● NPO法人 いちかわ市民文化ネットワーク	047-339-7809
● NPO法人 NPO佐倉こどもステーション	043-487-1655	● NPO法人 子育てネットワークゆっくっく	04-7129-8089
● NPO法人 子どもネット八千代	047-486-4699	● NPO法人 里山会	047-482-4613
● NPO法人 いんざい子ども劇場	0476-46-6287	● 千葉県子ども核廃	047-457-2065
		● NPO法人 子ども劇場千葉県センター	043-301-7262

● 千葉県内子どもと舞台芸術・文化団体